

平成28年度 総務部 方針書

総務部長 高橋 実

1. 部の使命（役割）

総務部は、市組織全体の管理部門として、全組織・全職員がその持てる能力を十分発揮し、市民満足度の高い行政サービスを最大限に提供できるよう「全庁後方支援」を行う。

2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

毎日の業務活動が適時適切に行われているか（行うことができるか）、通常時はもとより危機管理時を含む体制全般について、不断の現場検証を行う。

3. 平成28年度の『スローガン』

市組織の「縁の下の力持ち」としてチーム力を発揮しよう！

4. 年度目標となる方針（目標）

行政管理部門としてのアプローチから「各部の方針」が100%達成されるように可能な限りバックアップする。

5. 重点取組項目

(1)	項目	人材の育成と組織の検証
	取組内容	・人事評価制度や昇任昇格制度の点検 ・職員定員適正化計画の進行管理 ・政策法務への移行 ・市長とのランチミーティング継続 等々
(2)	項目	地方創生時代への業務対応
	取組内容	・よこて情報センターの設置支援 ・公文書館機能の整備促進 ・電子入札制度の導入による事務効率化 ・日常防災意識の向上と「後方支援拠点構想」の推進 等々
(3)	項目	既存業務の再点検と改善
	取組内容	・本庁各部と地域局の行政サービス提供の在り方検討 ・所管業務全般の再点検（時間外勤務の減少化） ・入札契約制度の改善 ・市報のリニューアル継続 等々

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- 「人材の育成と組織の検証」では、部局長等のヒアリングを通して組織検証を行ったほか、自治体法務検定受験へのモデル的な取組みを行うなど一定の成果が生じている。
- また「地方創生時代への業務対応」については、横手情報センターの設置、公文書館機能の整備方向とりまとめ、電子入札の実施など具体的な進捗が図られた。
- さらに「既存業務の再点検と改善」については、関係部局と調整を進めながら各業務の点検と改善に取り組んでいる。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

各取組み項目について具体のスケジュールのもとに進行管理を行う。特に「本庁各部と地域局の行政サービス提供の在り方検討」やこれに関連する「職員定員適正化計画の進行管理」等組織全般に深く関係するテーマについては、部局間連携により方向性を導き出すことが肝要。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

部内各課業務については、それぞれ目標に向けた一定の進捗が図られた。次年度に向けて引き続き組織全体の在り方や全庁バックアップ体制の強化を進めるため、これまでの取組みを加速化させたい。